

2022年7月5日

第100回定時総代会議事録

富国生命保険相互会社

第 100 回定時総代会議事録

富国生命保険相互会社

2022年7月5日（火曜日）午前10時00分、東京都千代田区内幸町二丁目2番2号、富国生命本社28階会議室に於て、全取締役11名（米山好映、櫻井祐記、林俊勝、渡部毅彦、北村康幸、吉村博人、柳正憲、藤原利秀、黒田啓一、鳥居直之、砂本直樹）及び全監査役5名（根津嘉澄、高橋恭平、大谷邦夫、吉澤啓、中尾真司）が出席し、第100回定時総代会を開催した。

- ・総代数 119名（定数120名）
- ・出席総代数 118名（うち、委任状による出席18名）

1. 開会

午前10時00分、定款第20条の定めにより、代表取締役社長米山好映が議長となり、開会を宣した。

次に、議長は、本日の出席総代数が、委任状を含め、本総代会の議案の決議に必要な定足数を充足しており、適法に成立した旨を述べた。次いで、本日上程される議案は定款第21条に定める普通決議による事項であることを述べた。

2. 議事の経過の要領及びその結果

1) 監査報告

議長は、まず、中尾常勤監査役に監査報告を求めた。同監査役は、監査の方法、内容及び結果は、監査役会の監査報告書謄本記載のとおりであること、また、本総代会に提出の全ての議案及び書類は、法令・定款に適合しており、指摘すべき事項はない旨を述べた。

2) 報告事項の報告

議長は、2021 年度事業報告の件、2021 年度貸借対照表、損益計算書及び基金等変動計算書報告の件、相互会社制度運営報告の件について、スライドを用い、ナレーションにて報告を行う旨を述べた。

ア. 2021 年度事業報告の件

2021 年度事業報告について、事業の概況、業績状況を報告した。

イ. 2021 年度貸借対照表、損益計算書及び基金等変動計算書報告の件

2021 年度貸借対照表、損益計算書及び基金等変動計算書報告について、貸借対照表、損益計算書を中心に主な項目について報告した。

ウ. 相互会社制度運営報告の件

相互会社の仕組みと総代の定数、総代の選出方法、2021 年度ご契約者懇談会開催状況などについて報告した。

この後、議長は 2021 年度事業報告の中の、会社が対処すべき課題について報告した。

3) 質疑

上記各報告事項の報告後、総代から事前に寄せられた以下の質問・意見に対し、議長及び議長からの指名を受けた担当役員より回答を行った。

○御社では、長期経営ビジョンである「お客さま満足度No.1 の生保会社となる」ために、あらゆる分野において差別化を追求する取組みを実践されておられますが、業界内における「お客さま満足度の向上」の順位はほぼ横ばいの結果であるとあります。業界内の順位はどの位置でしょうか。また、新中期経営計画（2022 年度～2024 年度）の中に、お客さま満足度の向上につながる営業職員制度改革を実行するとありますが、具体的な取組みはどのようなものですか。

○新中期経営計画における重点取組みテーマにある「営業職員制度改革」及び

「自助を促すコンサルティング力」とは具体的にどのようなものかお聞かせ
願いたいと思います。

○3年間継続された中期経営計画において、従業員満足度の向上は横ばい、お
客さま満足度の向上に関する外部調査順位もほぼ変わらず、「持続的成長の
ための好循環」の取組みに課題が残ったとありますが、具体的にどのような
課題なのでしょう。また、更なる発見や発展性はありましたか。

○創業100周年の記念事業として、一般向け、又は契約者限定向け等で、期間
を限定した記念商品（特約の付加等）の販売や、社員（職員）に対して記念
に残り、モチベーションの高揚に繋がるような企画はあるのでしょうか。

○人生100年時代に突入し、リカレント教育なども注目されています。人生応
援という視点で、今後、富国生命が取り組むシステムはありますか。また、
これからの社会を支えていくZ世代についてお尋ねします。お得になること
を大切にする世代と言われていています。子育て世帯ではない20代、30代の人
たちの保険加入についてどのようなお考えでしょうか。

○国内での生命保険の状況は、新聞・雑誌などから理解しておりますが、富国
生命が営業されている英国・米国・シンガポール内での生命保険の状況を多
少でもお聞かせいただけたらと思います。

○新型コロナウイルス感染症の拡大、ロシアによるウクライナ侵攻・米国の金
融政策・エネルギーや物価の価格上昇など、先行きが不透明ですが、富国生
命としてこれからの景気予想や運営の基本的な対応について教えてください。

○SDGs活動に伴う社会貢献での取組みは、昨年来ご説明いただいています
が、ESG投資として社会的責任の点で取り組まれていることはありますか。

○今後の新たな保険の販売について、お聞かせください。社会の変化に伴い、
保険に対するニーズも変化していくため、保険も変化を求められると思いま

す。今後の社会の進展に沿った、これまでとは違った保障の保険商品の販売は検討されているのでしょうか。

○ご契約者懇談会にてワクチン接種者の保険料割引や後遺症になった時の通院費がもう少し欲しいなどのご意見がありました。Withコロナに対応する更なる商品内容の充実を検討してください。また、「人生100年時代に対応し高齢者でも入りやすい保険」などのご意見も伺っております。引き続き、時代を見据え、ご契約者に喜ばれる保険商品の開発・提案をよろしくお願ひします。

○スポーツジムと提携して、毎日運動している人向けに保険料を割り引くような保険があると良いと思います。

○病気の種類により、そのスペシャリストの医者や病院を教えてくれるサービスが欲しいです。

○とても安心できる富国生命保険相互会社が石川県ではあまり知られておらず、ここ数年CMを活用した広報をお願いしてまいりました。ようやく石川県でもCMが始まり、感謝しております。著しい人口減少社会において、「ご契約者」を維持することは至難と考えております。次世代も安定し契約できる会社を継続するために、引き続きご契約者を増加させる施策の継続をお願いいたします。

○急速に進むDX時代を乗り越えるために、デジタルリテラシーが重要かと思いますが、御社が取り組まれている“DX人材育成プログラム”等があれば、教えていただきたいと思います。

回答後、議長は、その他に総代から多数の期待やお褒めの言葉などを頂戴していることについて述べた。

さらに議長は、出席総代に対して質問・意見を求めたところ、以下の質問・意見が寄せられ、議長及び議長からの指名を受けた担当役員より回答を行った。

○従業員満足度の向上について、従業員の方が満足しているから横ばいとなっているのでしょうか。また、離職率については、なぜ高くなっているのでしょうか。

○危険準備金を追加責任準備金に積み替えたことについて、また、保険金等支払引当金について、翌年度の支払見込額のうち支払備金計上額を上回る額を計上したことについてご説明いただきたいです。

○若い世代が保険に加入するようなきっかけを作って欲しいです。

○お客さまアドバイザーが働きやすい職場づくりを進めて欲しいです。

4) 決議事項の審議・採決

続いて、議長は、決議事項である第1号から第5号までの各議案について、それぞれ説明し採決を行う方法で審議を進めたい旨を述べ、出席総代に異議を問うたが、満場異議はなかった。

第1号議案 2021年度剰余金処分案承認の件

議長は、2021年度剰余金処分案、社員配当比率について説明した。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。

第2号議案 社員配当準備金分配の件

議長は、配当のあらまし、社員配当準備金分配について説明した。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。

第3号議案 総代候補者選考委員11名選任の件

議長は、本年度より次期第23期総代の選考を開始するにあたり、定款第22条により、総代候補者選考委員11名を選任したい旨を述べた。

議長は、総代候補者選考委員の候補者として、内山俊弘、大石英生、岡伸浩、木野綾子、小巻亜矢、白川香名、須藤浩、高橋洋、千々松愛子、土屋雅之、

豊岡清行の 11 名が、総代候補者選考委員の選考基準をそれぞれ満たしている旨を述べた。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。

第 4 号議案 取締役 11 名選任の件

議長は、現取締役 11 名全員が本総代会終結の時をもって任期満了となることにともない、米山好映、櫻井祐記、林俊勝、渡部毅彦、北村康幸、柳正憲、佐藤広、黒田啓一、鳥居直之、砂本直樹、近藤健の 11 名を、取締役として選任したい旨を述べた。なお、柳正憲及び佐藤広の 2 名については社外取締役の候補者である旨を述べた。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案通り承認可決された。選任された 11 名は全員就任を承諾した。

第 5 号議案 監査役 1 名選任の件

議長は、監査役 吉澤啓が任期途中で辞任により退任することにとまないと、後任として重松秀明を、監査役に選任したい旨を述べた。また、本議案については監査役会の同意を得ていることを述べた。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。選任された同氏は就任を承諾した。

3. 閉会

議長は、以上をもって本定時総代会の議案全部を議了した旨を述べ、午前 12 時 05 分に、議長は第 100 回定時総代会の閉会を宣した。

以上の議事の経過及び決議を明確にするため、この議事録を作成した。

2022年7月5日

富国生命保険相互会社

第100回定時総代会

議事録の作成に係る職務を行った取締役の氏名

代表取締役社長 米 山 好 映

以上